



祐介の目

大田ゆうすけ
(福山市議会議員)

No.30

毎月1日号に掲載

婚活支援について

職業柄「いい人がいませんか?」とよく尋ねられる。私自身も見合い結婚なので、できれば力になりたいと思う。しかし、以前はお世話好きな方も多かったが、近頃は「おせっかい」と言われかねない。お見合いという日本ならではの良い風習が廃れた事も晩婚化に拍車をかけている。

最近、出会いの場と地域活性化を兼ねた「街コン」というイベントが注目されている。福山でも「福山コン」というイベントが開催されており、次回は4月20日開催予定だ。特徴は、全国チェーンでない地場のお店限定で開催し、開催前には揃いの法被を着てエリア内のゴミ拾いをしている。主催者(元気UPプロジェクト)の「福山を盛り上げたい」という思いが伝わるイベントであり、私も応援している。ちなみに開催前のゴミ拾いに参加されるような方こそ狙い目だと感じている。

また、私が所属する商工会議所青年部も毎年「ローズカフェ」というカップリングパーティーを開催している。昨年は鞆の町並みを散策し、仙酔島でバーベキューをした。鞆の歴史や文化に詳しくあったり、口下手でも炭に着火するのは得意という人がいたり、アウトドアならではの感性が見られて良かったのではないかな。

さらに、5月に「良縁親の会」による、未婚の子供を持たれて悩んでいる親による代理お見合いの会開催のお手伝いをさせてもらっている。この会は結婚相談所ではなく、参加費は比較的安価であり、めでたくご成婚されても報告義務や成婚料などの追加費用も発生しない。心当たりのある方は子供のために一肌脱がれてはいかがだろうか。

福山市としても来年度から婚活事業に取り組むことになった。保健福祉政策課による仮称「福山de愛サポーター」の養成や「里山コン」を開催しようという内容である。皆様もこのさい「おせっかい」と言われようともサポーターに立候補していただきたい。そしてぜひ下降傾向の福山市の合計特殊出生率(平成25年は1・6)を上げたものだ。